

製品名: IFITM3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12383**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	IFITM3
別名	IFITM3; Interferon-induced transmembrane protein 3; Dispanin subfamily A member 2b; DSPA2b; Interferon-inducible protein 1-8U
遺伝子 ID	10410.0
SwissProt ID	Q01628
免疫原	抗血清はヒト IFM3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

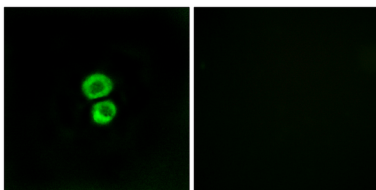
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターフェロン誘導性膜タンパク質であり、インフルエンザ A H1N1 ウイルス、

ウエストナイルウイルス、およびデングウイルスに対する免疫付与に寄与する。この遺伝子には2つの転写バリエーションが見つかっており、そのうち1つのみがタンパク質コードである。N末端が切断されたアイソフォームをコードする別のバリエーションも報告されているが、このバリエーションの全長は未だ解明されていない。[RefSeq 提供、2012年5月]、誘導: α および γ インターフェロンによる。、類似性: CD225 ファミリーに属する。、

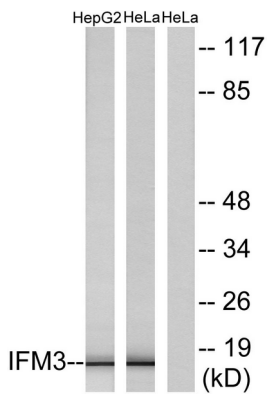
研究分野

幹細胞

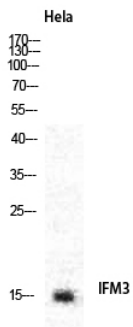
画像データ



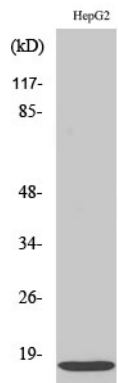
IFM3 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



IFM3 抗体を用いた HepG2 細胞および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の IFITM3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 2000 希釈の IFITM3 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析